教科名	美術科	学年名	第1学年	年間授業時数	45時間	教科用図書名	日本文教出版
教科の目標	<p>○主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。</p> <p>○対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。</p> <p>○自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。</p>					学習の手引き	<p>○教室移動を早めにする。</p> <p>○時間を大切にする。</p> <p>○忘れ物をしない。</p> <p>○道具は大切にする。使い終わったらもとの場所に返す。</p> <p>○美術室にある道具や材料は勝手に持ち出さない。</p> <p>○作品へのいたずらは絶対にしない。</p> <p>○最後まで完成させる。</p>

	学習内容	ねらい	評価の観点・方法
1 学 期	<p>感じたことをそのままに</p> <p>モダンテクニック</p> <p>レタリング</p> <p>ポスター</p>	<p>○身のまわりにあるものの造形的な面白さや美しさなどを、視覚だけでなく触覚など体全体で感じ取ることができる。</p> <p>○吹き流しや、スパッタリングの技法を用い、発想豊かな作品を制作する。</p> <p>○美しく、精密な文字を描くことができる。</p> <p>○伝えたい意図をまとめ、見やすい構図を考えることができる。</p>	<p>*各単元の評価の観点、評価の方法</p> <p>【美術への関心・意欲・態度】 主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい、美術を愛好していこうとする。</p> <p>【発想や構想の能力】 感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現の構想をする。</p>
2 学 期	<p>色のしくみ</p> <p>美術の鑑賞</p>	<p>○色の3要素や配色など、色彩の仕組みやその効果を知り、上手に扱うことができる。</p> <p>○芸術作品を鑑賞し、作者の意図や作品から感じることを自分で理解し、まとめることができる。</p>	<p>【創造的な技能】 表現の技能を身に付け、造形感覚や感性などを働かせ、自分の表現方法を創意工夫し創造的に表す。</p>
3 学 期	<p>鉛筆で描く</p> <p>自画像</p> <p>美術の鑑賞</p>	<p>○画材に合わせた描写の方法を学習する。</p> <p>○モチーフをよく観察し、特徴を描くことができる。</p> <p>○芸術作品を鑑賞し、作者の意図や作品から感じることを自分で理解し、まとめることができる。</p>	<p>【鑑賞の能力】 美術作品や文化遺産などに親しみ、感性や想像力を働かせてよさや美しさなどを感じ取り味わったり、理解したりする。</p>

教科名	美術科	学年名	第2学年	年間授業時数	45時間	教科用図書名	日本文教出版
教科の目標	<p>○主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。</p> <p>○対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。</p> <p>○自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。</p>					学習の手引き	<p>○教室移動を早めにする。</p> <p>○時間を大切にする。</p> <p>○忘れ物をしない。</p> <p>○道具は大切にする。使い終わったらもとの場所に返す。</p> <p>○美術室にある道具や材料は勝手に持ち出さない。</p> <p>○作品へのいたずらは絶対にしない。</p> <p>○最後まで完成させる。</p>

	学習内容	ねらい	評価の観点・方法
1 学期	構図と遠近法 風景を描く	<p>○色彩の良さや美しさに気づきその性質や感情への影響について理解する。</p> <p>○身近な風景や自然物から美しさを感じ取る。</p> <p>○空気遠近法を用いて風景描写ができる。</p> <p>○さまざまな画材の種類や特性を理解する。</p>	<p>*各単元の評価の観点、評価の方法</p> <p>【美術への関心・意欲・態度】 主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい、美術を愛好していこうとする。</p> <p>【発想や構想の能力】 感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現の構想をする。</p>
2 学期	木版画 一版多色刷り木版画 モダンテクニック コラージュ	<p>○日本の伝統的な文様や構図の美しさを理解する。</p> <p>○混色や重色を行い、色彩表現の幅を広める。</p> <p>○感性を働かせて、写真や雑誌を独自に構成する。</p> <p>○抽象絵画とコラージュの関連性を学ぶ。</p>	<p>【創造的な技能】 表現の技能を身に付け、造形感覚や感性などを働かせ、自分の表現方法を創意工夫し創造的に表す。</p>
3 学期	粘土で作る オリジナルご当地キャラづくり	<p>○各地の文化や歴史を調べ理解を深める</p> <p>○情報を伝えるというデザインの基礎を学ぶ。</p>	<p>【鑑賞の能力】 美術作品や文化遺産などに親しみ、感性や想像力を働かせてよさや美しさなどを感じ取り味わったり、理解したりする。</p>

教科名	美術科	学年名	第3学年	年間授業時数	35時間	教科用図書名	日本文教出版
教科の目標	<p>○主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。</p> <p>○対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。</p> <p>○自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。</p>					学習の手引き	<p>○教室移動を早めにする。</p> <p>○時間を大切にする。</p> <p>○忘れ物をしない。</p> <p>○道具は大切にする。使い終わったらもとの場所に返す。</p> <p>○美術室にある道具や材料は勝手に持ち出さない。</p> <p>○作品へのいたずらは絶対にしない。</p> <p>○最後まで完成させる。</p>

	学習内容	ねらい	評価の観点・方法
1 学 期	工芸（篆刻） 墨が生み出す豊かな世界	<p>○篆刻の装飾性と機能美を理解する。○作品に自分の想いを込め、興味をもって最後まであきらめずに制作することができる。○鑑賞作品から発想を広げ、計画的に構想を練り、石を彫り進めることができる。</p> <p>○雪舟作品を通して、水墨画の発祥や歴史を知る。○水墨画の技法を体験しながら、構図や技法を工夫して水墨画を制作することができる。○友だちや作家の水墨画を鑑賞し、そのよさや美しさについて話し合う。</p>	<p>*各単元の評価の観点、評価の方法</p> <p>【美術への関心・意欲・態度】 主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい、美術を愛好していこうとする。</p> <p>【発想や構想の能力】 感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現の構想をする。</p>
2 学 期	色彩の組み合わせ（色面構成）	<p>○モチーフを自分なりに分析し、分解、再構成ができる。</p> <p>○色彩で雰囲気や意図を表現することができる。</p>	<p>【創造的な技能】 表現の技能を身に付け、造形感覚や感性などを働かせ、自分の表現方法を創意工夫し創造的に表す。</p> <p>【鑑賞の能力】 美術作品や文化遺産などに親しみ、感性や想像力を働かせてよさや美しさなどを感じ取り味わったり、理解したりする。</p>
3 学 期	写真立ての制作	<p>○主役を引き立たせるための装飾について学ぶ。</p> <p>○日常使用できるものとしてのデザイン性を表現する。</p>	